

#### 4. 企業における長期取組の代表例

取組の代表例を類型化すると、

①専門分野とは異なる分野の企業において長期取組を実施しているケース

- ・ 専門(生物工学) → 長期取組(精密機器) (事例1)
- ・ 専門(神経科学) → 長期取組(その他金融) (事例2)
- ・ 専門(情報工学) → 長期取組(サービス業) (事例3)

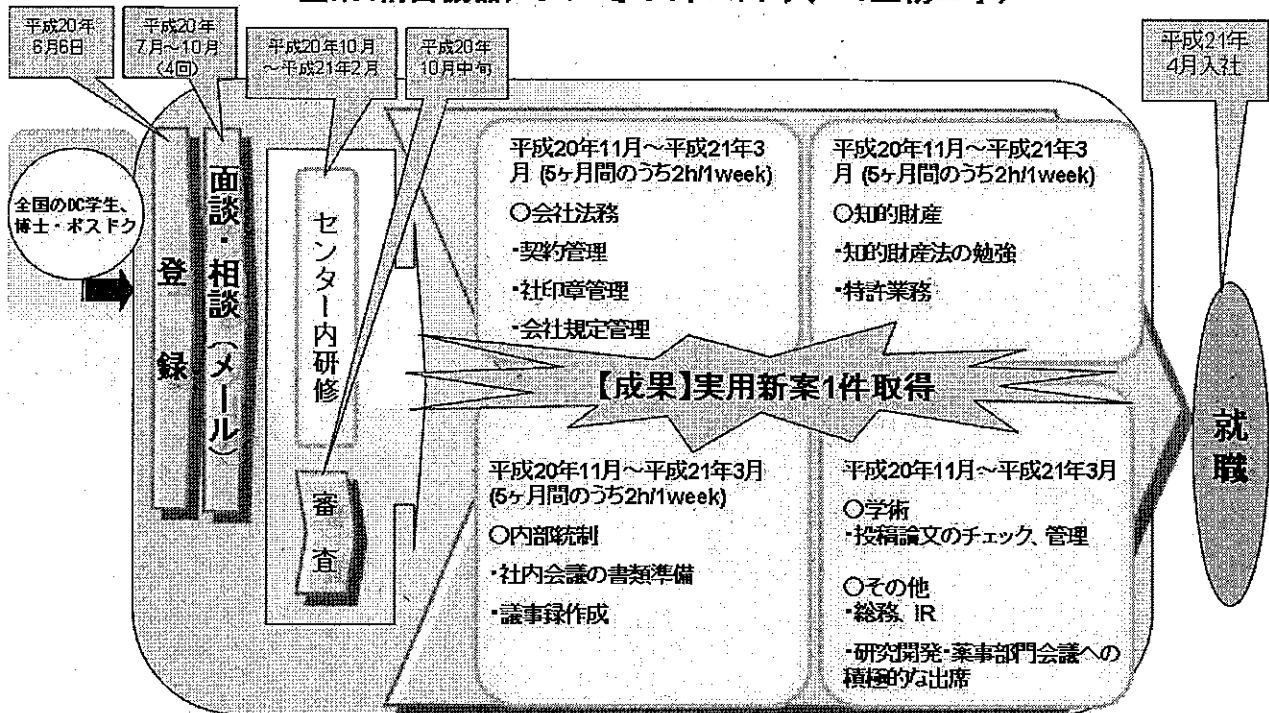
②専門分野の融合領域分野の企業において長期取組を実施しているケース

- ・ 専門(機械工学) → 長期取組(機械) (事例4)
- ・ 専門(生化学) → 長期取組(医薬品) (事例5)

に分類でき、養成対象者や企業の実情などに応じて、様々な長期取組が実施されている。

### 事例 1

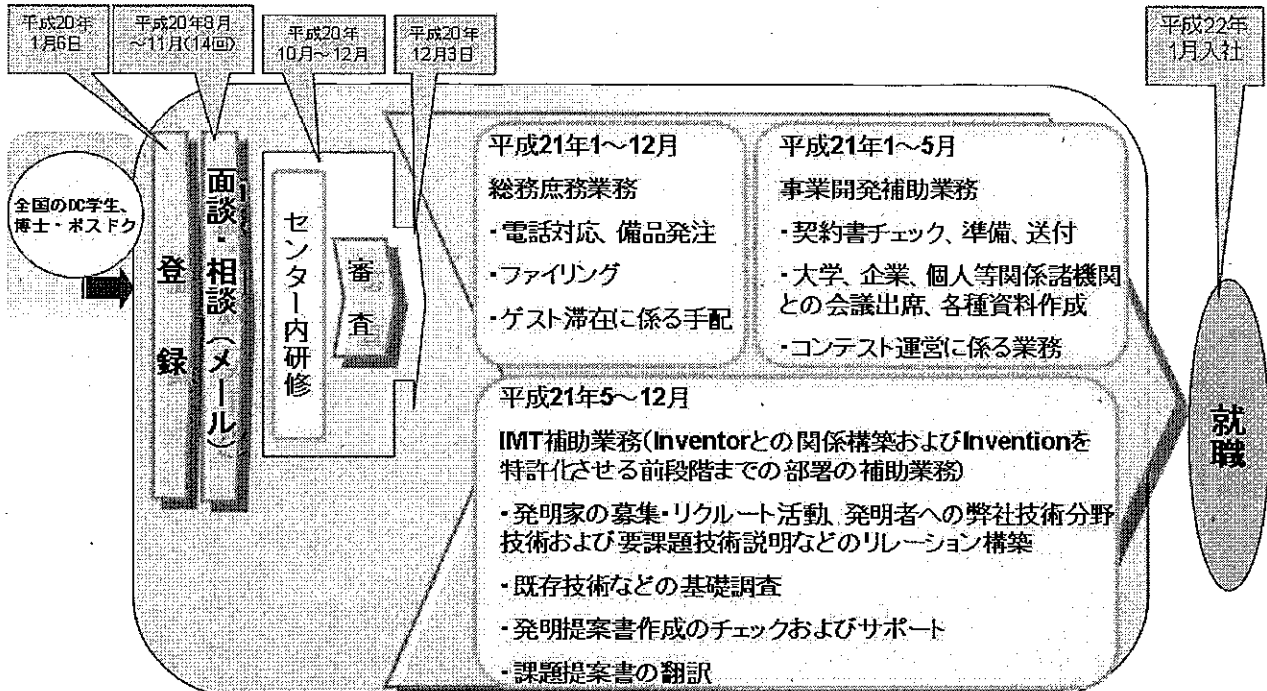
#### 企業(精密機器)でのAさん(ポストドクター/生物工学)



**【企業コメント】** 意欲的に取組み、特筆すべき水準の専門知識・語学力により、予想以上に早い戦力化が見込める。社内評価も非常に高く、既存社員に対してよい刺激となった。「社員登用を視野」ならば3ヶ月の期間が必要。

## 事例 2

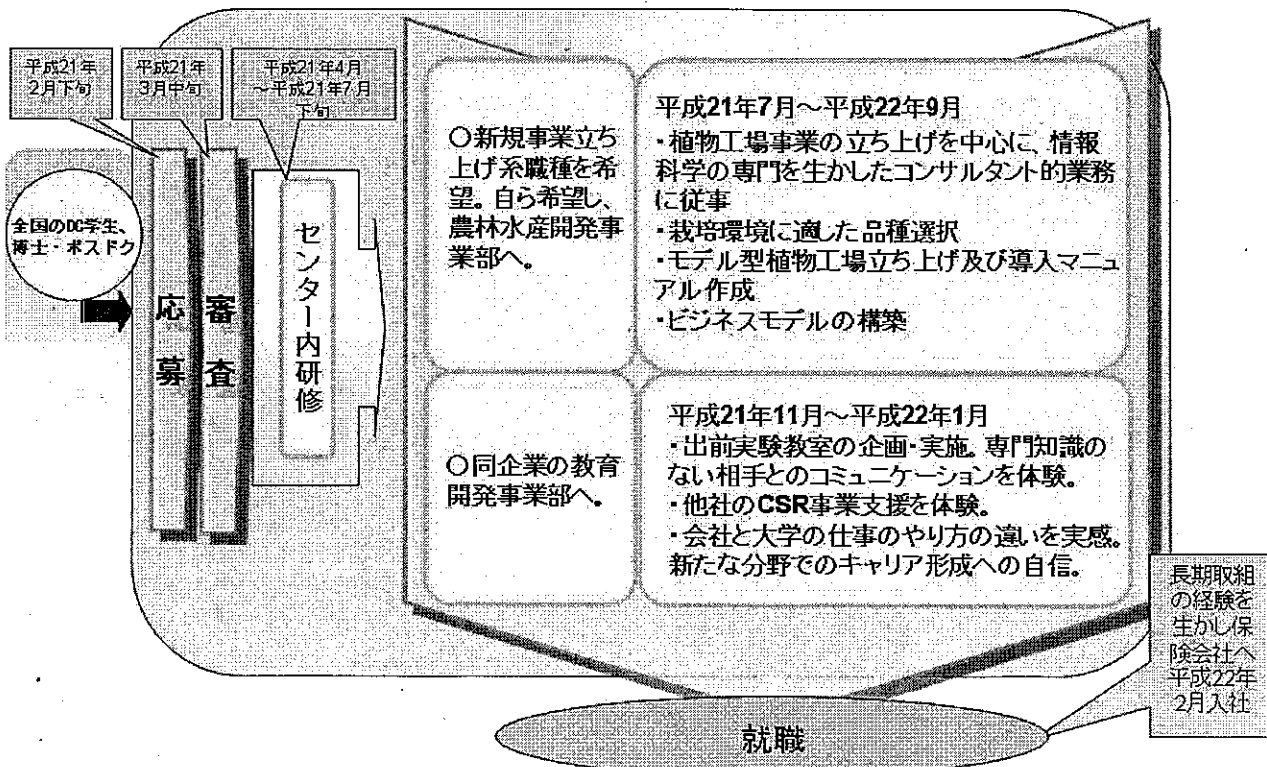
企業(その他金融)でのBさん(ポストドクター/神経科学)



【企業コメント】今後も同制度を活用したい。興味分野のポスドクを積極的に紹介頂きたい。本人の仕事ぶり、知識の習得力、専門知識のレベル等をじっくり見ることができた。お互い安心して次のステップ(就職)に踏み切れた。

## 事例 3

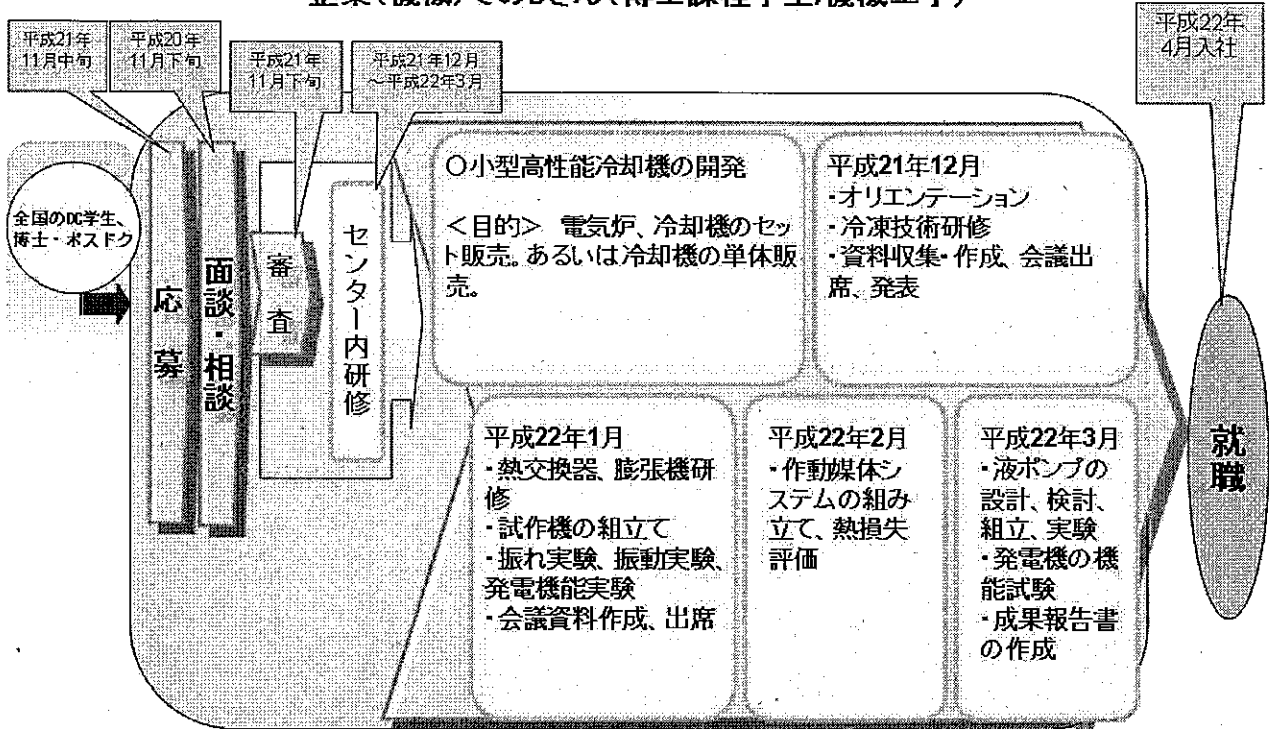
企業(サービス業)でのGさん(ポストドクター/情報工学)



【企業コメント】専門外の分野であったが熱心に取り組み、短期間に企業での業務の進め方を習得。リーダーシップの取り方などコミュニケーションに関するスキルも向上した。

## 事例 4

企業(機械)でのDさん(博士課程学生/機械工学)



【企業コメント】 チームの一員としての役割を理解し、業務を行った。基礎的な学力は申し分なく、特に何事にも興味を持ち積極的に勉強するところは高い評価を受けている。

## 事例 5

企業(医薬品)でのEさん(ポスドクター/生化学)



【企業コメント】 研究テーマへの理解度、取組姿勢及び責任感には特に優れている。日常のコミュニケーションも優れており違和感はなかった。